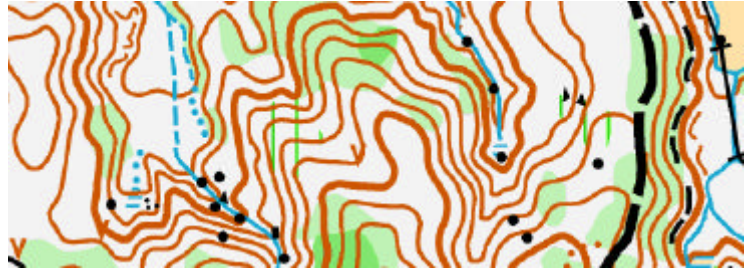


## イチオシイベント

# クラブカップリレーat 作手

村越 真

今回のイチオシイベントは、夏のクラブカップ、そして番外編として、10月にオーストラリアで開催されるマスターズ世界選手権を取り上げた。



グローバル・スタンダードで生まれ変わる曲がり峠

### 作手、それはヨーロッパ文化圏外初めての世界選手権開催地

北欧から、ヨーロッパ大陸、そしてオーストラリア、アメリカと開催地を広げてきたオリエンテーリングの世界選手権だが、それでもヨーロッパ文化圏から抜け出すことができなかった。そして、2005年、オリエンテーリングは初めてヨーロッパ文化圏以外の国で、その最高峰である世界選手権を開催する。オリエンテーリングが、初めて真のワールドワイドスポーツになる瞬間だ。その作手村が、今回のクラブカップの開催地なのである。

### 村越真、渾身のルートプラン!

初めて実際の大会で使われるオリエンテーリングのコースを組んだのは、確か中学3年生の時だった。とにかく考えに考えた。そして、そのコースに見知らぬ人たちが挑戦することに興奮した。地図を作成し、コースを組むたびに、あのとときの興奮とひたむきだった自分を思い出す。

最近は大大会運営にはかかわっているが、もっぱら競技委員長とかコントローラだ。自分の手でコースを組む経験がめっきり減った。もう5年以上はコースを組んでいない。多分最後に組んだのは、94年の静岡リレーだ。

そこにCC7コースプランナーのオファーだ。そりゃあ、引き受けるよね、普通。CC7といえば、クラブの力を最大限に試すリレーだ。それでいて少数での省力運営だ。コースプランナーとしては、多くの制約条件を抱えた困難な仕事だ。だからこそやりがいがある。

る。このオファーをRMOから受けたその直後から、僕の頭は、どうしたら限られたコンビネーションで、最大限公平で選手たちの実力を評価するコースパタンの作成できるかに夢中になった。ファシュタ、そして81年のスイスの世界選手権で考案されたユラモデル。現在あるリレーのさまざまなバリエーションは、こうした先人の努力の中で生まれたものだ。

さあ、あなたも作手モデルの誕生の瞬間に立ち会ってほしい!

### 一足早い、グローバルスタンダード体験

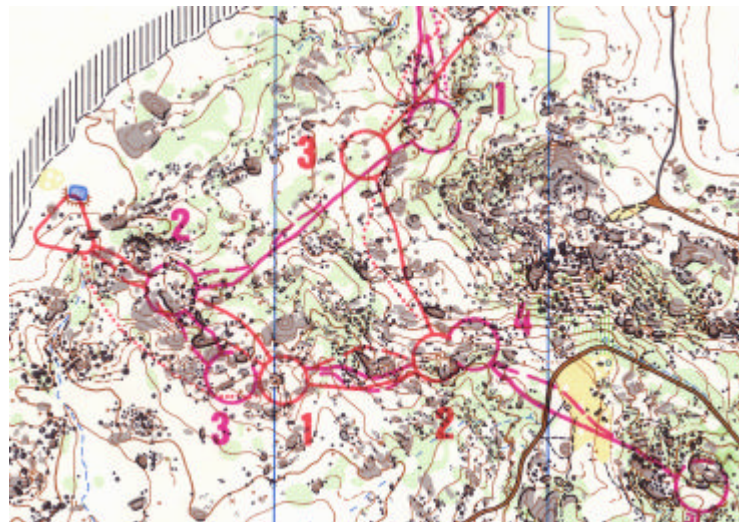
CC7は旧曲がり峠のトレインで開催される。同マップを、世界選手権のトレーニングキャンプのために再調査された地図が使われる。このトレインは確かに急斜面。しかし、精度の高い地図では、微妙なのぼりを回避し、思

わぬスピードでこのトレインを走りぬけることができる。もちろん、下りのテクニカルなレグも、精度の高い地図のもとでは、最大限の冒険ができるだろう。グローバル・スタンダードの地図を、あなたも世界に先立って体験してほしい。

### 作手の夏でOL三昧

リレー前日には、三河OLCによる、プレ大会が用意されている。エリートはマッチレース。昨年のワールドゲームズで披露された、2人の選手が同時にスタートし、競いあうレース形式だ。優勝するには、とにかく自分と同時にスタートした選手には勝たなければならない。通常のレース形式にはない、白熱したレースが展開される。

レースを楽しみ、レース観戦を楽しむ。作手の夏はオリエンテーリング三昧である。



マスターズ決勝に使われる、伝説のマウント・クーヨーラ

# マスターズ世界選手権 (オーストラリア)

世界マスターズ選手権が、オーストラリアのベンディゴ周辺で開催される。決勝に使われるトレインは、マウント・クーヨーラ。85年の世界選手権で使われた伝説のトレインである。これだけでも、ワクワクしてしまうのに、このマスターズ選手権は直前に南オーストラリア州のカーニバル、そして選手権後には、風光明媚なことで知られるタスマニア島での、タスマニア選手権と3日間大会が開催される。3週間以上に渡って連続して、様々なタイプの森でオリエンテーリングが楽しめるダウン・アンダー・カーニバルと呼ばれる一大イベントが開催されるのだ。

## 世界マスターズゲームの一部として開催

今回のマスターズオリエンテーリング選手権は世界マスターズゲームの一貫として開催されることである。世界マスターズゲームとは、オリエンテーリングに限らず29の種目のマスターズたちが競い合う、シニアたちのスポーツの祭典である。こうした大会は、五輪やワールドゲームズを含めてマルチ・スポーツ大会と総称される。IOFではオリエンテーリングの知名度向上のため、国際的マルチスポーツ大会に促進しており、今回のマスターズも、その流れの中で開催されるものである。

40年以上も昔から、35歳以上の競技者にも年齢の応じた競い合いの場を与えてきたオリエンテーリングは、いわばマスターズの先駆者。開会式で入場行進する選手たちの10%がオリエンティアで占められるとも予想されている。マスターズゲームの中で、明らかにオリエンテーリングはメジャースポーツなのである。

## 決勝は伝説のマウント・クーヨーラ

大会のイベントセンターは、メルボルンから150km離れたベンディゴである。1850年代のゴールドラッシュの

面影を残す歴史的な建造物の立ち並ぶその街は、オリエンテーリングの世界選手権が史上初めてヨーロッパ外で開催された記念すべき場所でもある。

マスターズは、予選二日、一日の休みを挟んで決勝という日程で行われる。40歳代や50歳代は選手の層も厚く、予選通過の争いは熾烈である。予選通過できるのは、1/4以下のクラスもある。だからこそA決勝進出は、参加者にとってのよい目標となるだろう。

決勝はマウント・クーヨーラで行われる。花崗岩の侵食でできたクーヨーラは、侵食によっていたるところに散在する大小の岩、そしてやぶによって高いナビゲーション能力を要求する。世界選手権では世界のトップ選手を悩ませたトレインである。目を奪うばかりの地図上の岩を無視して、地形を読み取る。この知覚技能は快感ですらある。このクーヨーラを走るだけでも、マスターズに参加する意義はあるのだ。ベンディゴ地域には様々な宿泊施設が用意されている。

[www.2002worldmasters.org](http://www.2002worldmasters.org)

## ダウン・アンダー・カーニバル

オーストラリアは、俗称ダウン・アンダーと呼ばれる。地球儀を見た時、本国イギリスから見てずっと下の方に位置することから名づけられた俗称であろう。「俺たち、下の方だぜ」という一種卑屈なはずの表現を、自分たちの国の別称としてしているところに、おおらかなオーストラリア人気質を感じさせる。

この名称を冠したのが、マスターズを含めた9月末から10月にかけて開催されるダウン・アンダー・カーニバルである。

カーニバルは、マスターズの前の9月29日から、サウス・オーストラリア州のアデレードから50kmのところで開催される南オーストラリア選手権から始まる。この選手権は、大きな地形のスピードトレインである、ガリー・スパー（尾根沢）タイプのトレインで行

われる。

その後、カーニバルは、北方にあるフリンダー山地での大会が行われる。この地域は年間の降水量も少なく、また気温も20度から25度なので、オリエンテーリングにとっては最適な気候を提供するだろう。この大会は、アウトバック・チャレンジと名づけられているが、個人レースのMW21Eは、世界ランキング大会ともなっている。

Barossa Valleyの宿泊施設に関しては

[www.oasa.asn.au](http://www.oasa.asn.au)

[www.southeasternaustralia.com/accommodation.asp](http://www.southeasternaustralia.com/accommodation.asp)

## マスターズの後は、タスマニア

マスターズ選手権の後には、タスマニアで3日間大会と、タスマニア個人・リレー選手権が開催される。この場所では、92年にもベテランワールドカップが開催された。前回中心的な役割を占めた役員が、今回も準備に携わっている。一段と洗練された大会になることだろう。タスマニア西岸にあるセント・ヘレンズは、オリエンテーリングの会場としてもふさわしいだけでなく、旅行者に対する暖かい歓迎の心で有名である。また、観光に時間を費やす余裕のある人たちには、自然豊かな国立公園から、世界遺産まで、さまざまな見所がある。観光情報はこちら。

[www.tourism.tas.gov.au\(Tasmania\)](http://www.tourism.tas.gov.au(Tasmania))

[www.tasnortherneast.com.au](http://www.tasnortherneast.com.au)

マスターズは毎年開催される。今年にはオーストラリア。そして来年はノルウェーのハルデンである。ハルデンといえば偉大な世界チャンピオン、ベター・トゥールセンの居住地でもあり、ノルウェーの中でも良質なトレインに恵まれた地域でもある。

たとえ、\*\*歳以上だろうが、決勝に出れば、あなたは「世界第\*\*位」。その甘美な響きを求めて、マスターズに参加しようではないか！

要項申込書は全日本大会で配布予定。

(おわり)